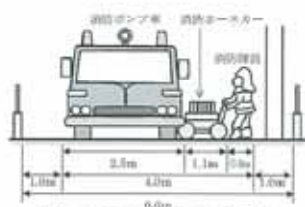


## 防災まちづくりの実践に向けて

『さんかく隊（大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりの会）』では、「水・みどり・人とのふれあいを大切に、様々な人が安心して住み続けられるまちの形成」を目標に掲げ、火をださない・火をもらわない・逃げないですまちを目指しております。

現在は、様々な大地震の教訓を日頃の活動に生かすために「防災まちづくりに関する勉強会」を行っています。過去の大地震の恐ろしさとその教訓から法律などが整備されて来ている事、当地区のまちの状況や防災まちづくりの方法などを勉強しています。

防災まちづくりには、道づくり・家づくり・人づくりが重要であることがわかりました。これからもみなさんに防災まちづくりの重要性などをお伝えしますので、私たちでできるまちづくりの方法を一緒に考え、実践していきましょう。



円滑な消防活動に必要な道路の幅員



シミュレーションによる地震時のまちの様子

## お願い！地域から公募会員を募集しています！

『さんかく隊』は、第一京浜、産業道路、環状八号線で囲まれる三角形の地域で、自治会、町会、PTA、公募の会員によって、手と手を携えて活動しています。毎月会員が集まり会議を行い、防災まちづくりに関して勉強し、「防災まちづくりニュース」や「防災まちづくりフェア」などで地域のみなさんにお知らせしています。また、学ぶだけではなく、関係者のご協力のもと防災上支障となる電柱を移動したり、防災面の役割を担う公園整備に向けた取り組みを進めてきました。



近々起こるであろう大地震などに備えて、私たちと一緒に活動し、防災まちづくりを実践していただける方を募集しています。また、防災まちづくりニュースなど広報関係での記事集め、校正に興味がある方も募集しています。

当会の活動や広報活動へのご参加については、下記の各町会、または、都市開発課（電話 5744-1338）へご連絡ください。

### 編集後記

有史以来、災害は必然性のもので、古来、中国には「黄河を制する者は天下を制する」ということわざがあります。それほど、災害は避けて通ることのできない命題です。

当会の会員と、このまちづくりニュースをご覧の皆様が一体となって、当地区の防災に就き折りに触れて検討することが必要と考える次第です。

（運営委員 増井静男）

### 大森中・蒲田・糀谷地区 防災まちづくりの会 構成団体

左記の団体からの代表と公募住民の57名の会員で活動しています。

川端自治会	東蒲田二丁目町会
大森山谷自治会	南蒲田一丁目自治会
大森町自治会	南蒲田二丁目町内会
本郷町会	南蒲田三丁目町会
大森中八幡自治会	新宿東町会
北糀谷一・二丁目町会	大森第一小学校PTA
西糀谷一丁目町会	北糀谷小学校PTA
西糀谷二丁目町会	糀谷小学校PTA
西糀谷三丁目町会	東蒲田小学校PTA
西糀谷四丁目町会	南蒲田小学校PTA
大島居中央町会	大森東中学校PTA
東蒲田一丁目自治会	糀谷中学校PTA
東蒲田二丁目町会	東蒲田中学校PTA
東蒲田三丁目町会	公募住民

## 大森中・蒲田・糀谷地区 防災まちづくりニュース No14

平成17年3月



大森中地区 防災生活圏促進事業

編集：大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりの会「さんかく隊」

発行：大田区 まちづくり推進部 都市開発課 TEL.5744-1338

## 防災まちづくりフェアを開催しました

昨年11月27日に糀谷小学校にて「第5回大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりフェア」を開催しました。好天に恵まれ200名を超える方々のご来場をいただき、煙体験や災害シミュレーションを利用した講演など各種イベントを楽しんでいただきました。

災害シミュレーションでは、大地震が起こった時に、まちにどのような問題が起こるのか、映像によってよく理解することができました。ぜひ、みんなで一緒に私たちが住んでいるまちについて考え、災害に強い安全なまちづくりについて取り組んでいきましょう。

↑子どもの参加者には蒲田少年消防団の皆さんがサポートして下さり、楽しく過ごせました。



↑児童館の皆さんが防災まちづくりに関するポスターを製作してくれました。



↑会の活動報告や講演には多くの参加者が集まりました。

### ごあいさつ

運営委員 内村 正法

防災の日（9月1日）は関東大震災を教訓に定められたと聞いております。「災害は忘れた頃にやってくる」といいますが、防災について一般の人々がどの程度関心を持っていらっしゃるかにかかっていると思います。そのため、道路や建物の整備などを進めることと、町内で行われる防災訓練に積極的に参加し、普段から近隣との協力体制づくりをしておくことが大切です。これにより、尊い人命や貴重な財産の被害を最小限に食い止めることができるのです。「災害に強いまちづくり」のために、多くの方々のご意見をお寄せ下さいませようお願いします。